【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公開番号】特開2015-45365(P2015-45365A)
【公開日】平成27年3月12日(2015.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2015-016
【出願番号】特願2013-176422(P2013-176422)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｃ　29/06　　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　33/44　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｃ　29/06
Ｆ１６Ｃ　33/44

【手続補正書】
【提出日】平成28年8月5日(2016.8.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
また，保持器３に設けた突起部９は，断面がそれぞれ円形に形成されている。突起部９は，保持器３のそれぞれの突起部９の周囲の一部分には，突起部９を引っ込ませて弾性変形させるためのスリット１２が形成され，弾性変形で半径方向に引っ込んだ突起部９が外筒２の内周面３１をくぐって即ち通って端部１７の窓部８に嵌入させて係合させることができるようになっている。このリニアブッシングでは，突起部９の突出量が案内突起部１０の突出量より大きく形成されており，突起部９が循環路２１の軌道路１４側に位置し，また，案内突起部１０をリターン路２３側に位置するように位置決めして，保持器３が外筒２に固定される。突起部９の先端は，保持器３の軸方向の内側に傾斜面２０が形成されており，先細に形成されて弾性変形しやすい形状に形成されている。突起部９の先端の傾斜面２０は，内向きに傾斜させることによって，３個の突起部９を同時に外筒２の大径円筒部７の内周面３１を通過させる時に引っかかりが減り，突起部９を通過させ易くなる。